

港区史編さんだより

～ 区民の皆さんと歩み、歴史を語り継ぐ～

発行：港区総務部総務課区史編さん担当

〒105-8511 港区芝公園 1-5-25/TEL 03-3578-2049/<https://www.city.minato.tokyo.jp/>



今号の表紙

昭和43年(1968)頃の新橋駅東口です。明治初期に開業した日本初の鉄道は新橋～横浜間でしたが、当時の新橋駅は現在よりやや東側。大正時代、新橋駅を汐留駅に、隣の烏森駅を新橋駅に改称しました。昭和40年代、新橋駅は大規模な改修工事が進められ、ほどなくこのルネサンス式の駅舎も建て替えられました。新橋駅の歴史について、詳しくは『図説 港区の歴史』(2020年12月刊行) P182～185をご覧ください。



目次

- Zoom Up 『港区史』通史編 原始・古代・中世と近世(上)(下)を刊行しました・・・P2
- Pick Up 港区の歴史を調べてみませんか?・・・P3
- 年表で振り返る あの日・あの時・・・P4

『港区史』通史編 原始・古代・中世と近世(上)(下)を刊行しました



■ 通史編 原始・古代・中世

令和3年3月刊行

A5判 | 口絵カラー | ソフトカバー | 324ページ

原始では、港区での考古学研究の進展をたどり、港区域の当時の様相を自然環境も踏まえて紹介しています。古代では、文献史料と考古資料の研究成果から、その景観や政治史を紐解いています。中世では、江戸氏や後北条氏などの武士の動向を追うだけでなく、代表寺院である善福寺と増上寺の由来や板碑を取り上げ、港区の中世史を従来に増してより深く捉えることができる構成としています。

■ 通史編 近世(上)(下)

令和3年5月刊行 ※令和3年3月刊行予定から変更になりました。

A5判 | 口絵カラー | ソフトカバー | 上: 500ページ 下: 380ページ

序章では、区の5地区と江戸時代の地域名の対応関係や、地形との関係を示しています。その上で、分節構造論に基づいた地目(武家地・寺社地・町人地)を柱として構成し、冒頭で都市の成立過程、下巻の後半で区内の多彩な文化や幕末の様相を記述しています。また、自治体史では考古学の記述を独立して扱うことが多いのですが、本巻ではそれぞれの章の中で記述し、文献史学・考古学の成果を合わせて近世の港区を見ることができるよう構成しています。



■ 価格 各巻 3,000円

■ 販売場所 港区役所 区政資料室

麻布地区総合支所

赤坂地区総合支所

高輪地区総合支所

芝浦港南地区総合支所

港区立郷土歴史館

港区立の各図書館でもご覧いただけます

◆ デジタル版『港区史』◆

「デジタル版 港区のあゆみ～港区の歴史を今と未来に伝えるデジタルアーカイブ～」にて公開中！

今回刊行する『港区史』は、インターネットでも公開しています。どなたでも、どこにいても『港区史』やその関連資料を閲覧することができます。

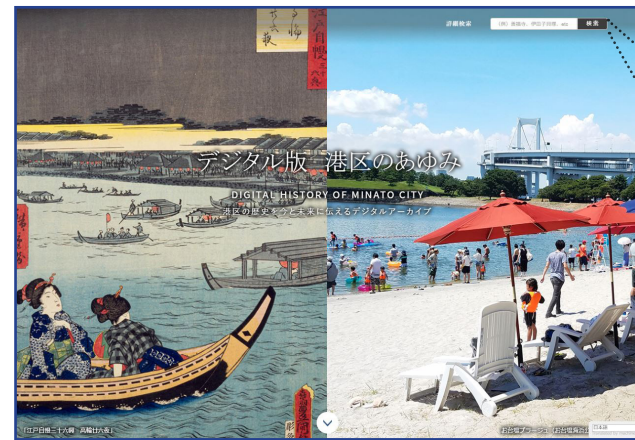
<https://trc-adeac.trc.co.jp/Html/Usr/1310305100/>

港区のあゆみ



Pick Up 港区の歴史を調べてみませんか？

「デジタル版 港区のあゆみ～港区の歴史を今と未来に伝えるデジタルアーカイブ～」では、2ページで紹介した『港区史』本文をはじめとして、掲載されているコンテンツ全てを対象にお好きなキーワードでの検索ができます！



愛宕山 弁慶橋 鉄道 発祥
善福寺 赤坂鐔etc

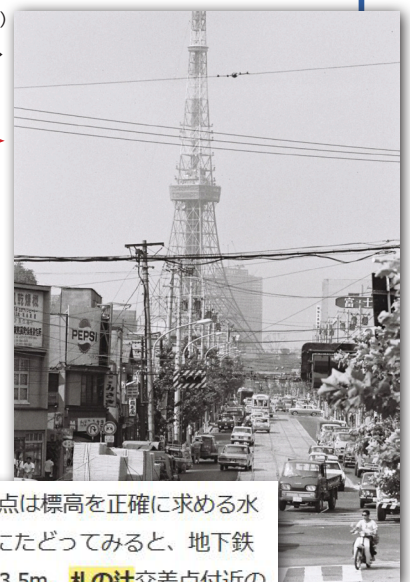
詳細検索 (例) 善福寺、伊皿子貝塚、etc 検索

検索窓にキーワードを入力し、「検索」をクリックすると、新しい『港区史』の本文や年表、写真・歴史資料の目録を横断的に検索します。

札の辻 検索 を検索してみると.... 区史本文や写真、年表事項などにヒットします

「札の辻から東京タワー方面を眺望」(写真でみる港区のあゆみ)

写真▶



港区/デジタル版 港区のあゆみ
本文テキスト検索結果

札の辻 検索

- [目録] 写真でみる港区のあゆみ (1件)
- [目録] 絵図・地図・歴史史料でみる港区のあゆみ (0件)
- [本文テキスト] 港区史 通史編 原始・古代・中世 (0件)
- [本文テキスト] 港区史 自然編 (2件)
- [本文テキスト] 図説 港区の歴史 (2件)
- [その他ページ] (0件)
- [年表] 年表でみる港区のあゆみ (2件)

第1章 港区の地形と地質 1 港区の地形の概要 iv 東京湾岸の低地
1) 低地の地形
港区/デジタル版 港区のあゆみ 港区史 自然編
ってみると、地下鉄大門(だいもん) 駅付近(浜松町1丁目)は3.1m、芝4丁目交差点付近では3.5m、**札の辻**交差点付近の芝5丁目では4.3m、三田3丁目では4.2m、品川駅北方の高輪3丁目では4.8mとやや高...

第1章 港区の地形と地質 1 港区の地形の概要 i 港区の地形を歩く
3) 芝から高輪へ(図1-i-5)

新橋駅東口側には、国土地理院の一等水準点(標高3.4m)がある。水準点は標高を正確に求める水準測定の基準点で、主要道路沿いに設置されるものが多い。第一京浜沿いにたどってみると、地下鉄大門(だいもん) 駅付近(浜松町1丁目)は3.1m、芝4丁目交差点付近では3.5m、**札の辻**交差点付近の芝5丁目では4.3m、三田3丁目では4.2m、品川駅北方の高輪3丁目では4.8mとやや高くなる。芝4丁目交差点付近から品川駅前にかけては、第一京浜が微高地の上を通るためである。

台地の縁に細長く南北方向に続く微高地は、かつての海岸部に形成された砂州地形と考えられる。溜池の谷の出口の虎ノ門付近や、愛宕山下から港区役所付近まで砂州地形が連続する。これは古川の谷の出口で一度途切れ、三田段丘の東側から再び台地に沿って連続する。

区史本文▲
(『港区史』自然編)

No	史資料	年表種別	元号年	西暦年	月	日	事項	出典・テーマ	備考
1	年表でみる港区のあゆみ	世の中の年表	平成16年	2004	6	19	◆JR田町駅南側の跨線橋「 札の辻 」の架け替えが完了し、開通式を実施		
2	年表でみる港区のあゆみ	港区の年表	平成25年	2013	2		◎田町駅西・ 札の辻 交差点周辺地区まちづくりガイドライン策定	【出典】:事業概要(港区の街づくり)平成30年度版 P33、広報みなどH25.3.1 P5 【テーマ】:23まちづくり	

◀年表事項
(年表でみる港区のあゆみ)



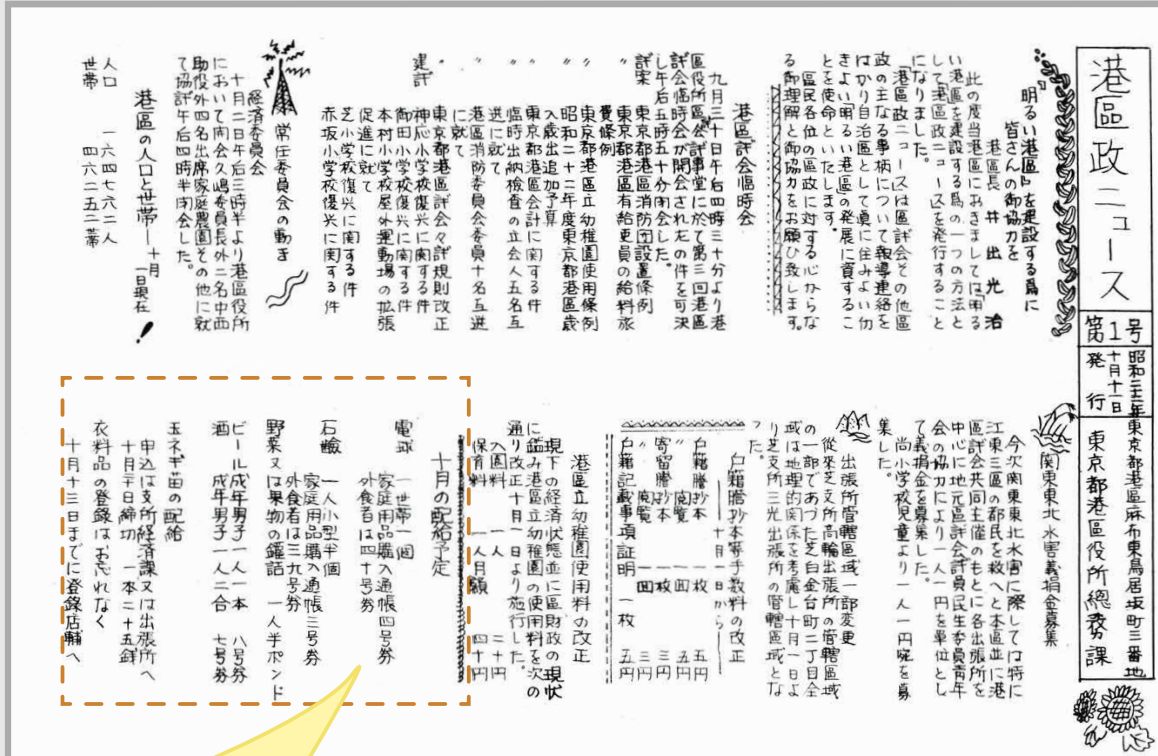
「デジタル版 港区のあゆみ」では、港区が誕生した昭和22年3月以降のできごとを年表でたどる「年表でみる港区のあゆみ」を公開しています。

その中の出典資料や、できごとに関連した資料を紹介します。

年表でみる港区のあゆみ
区政ニュースは、こちら
からもご覧いただけます▶



■昭和22年(1947)10月11日「港区政ニュース」第1号を発行



十月の配給予定

- 電球 一世帯一個
- 家庭用品購入通帳四号券
- 外食者は四十号券
- 石鰯 一人小型半個
- 家庭用品購入通帳三号券
- 外食者は三十九号券
- 野菜又は果物の罐詰 一人半ポンド
- ビール成年男子一人一本 八号券
- 成年男子一人二合 七号券
- 玉ネギ苗の配給
- 申込は支所経済課又は出張所へ
- 十月二十日締切 一本二十五銭
- 衣料品の登録はお忘れなく
- 十月十三日までに登録店舗へ

『港区政ニュース』は『広報みなと』の前身で、その使命は『真に住みよい働きよい「明るい港区」の発展に資すること』とあります。

第1号が発行されたのは終戦の2年後。配給予定からは当時の生活の一端がうかがわれ、区議会の建議からは学校の復興が急務だったことがわかります。また、下段の「関東東北水害義捐金募集」では、カスリーン台風により東京も大きな被害を受けたため、義援金を募集したことが記されています。

手書きなのが印象的ですが、翌年9月10日発行の第21号から活字印刷されたものになりました。

■編集後記

昨年の『港区史』自然編、『図説 港区の歴史』に続き、『港区史』通史編 原始・古代・中世、近世(上)(下)を刊行いたしました。これまでご協力くださった皆様、誠にありがとうございました。手に取りやすいソフトカバーで、表紙の江戸紫色がパッと目を引く仕上がりとなりました。内容は大変充実しておりますので、ぜひご覧ください。今年度は通史編 近代の刊行に向けて努めてまいります。今後とも港区史編さん事業へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。